

作成日：2009年12月17日

改訂日：2024年1月26日

製品安全データシート

整理番号：M-502

1. 製品及び製造者情報

製品名 : 蛍光粘着シート (粘着剤のみ)
会社名 : 株式会社セハージャパン
住所 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-4
担当部門 : 営業部
電話番号 : 03-3525-7081
FAX番号 : 03-3525-7089
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 虫ピタ虫V / 虫ピタ虫用粘着シート

2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : ポリブデン系粘着剤
危険有害成分 : シリカ CAS No.68611-44-9 1%未満 対象外

3. 危険有害性の分類

危険性 : 可燃性固体 (消防法：指定可燃物) である。
有害性 : 人体への影響はほとんどない。

4. 応急処置

眼に入った場合 : 危険な物質ではないが、清浄な水で約15分間洗眼する。
万一痛みが生じた場合は、医師の診断を受ける。
洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて、眼球、眼瞼の隅々まで水でよく行き渡るように洗う。

皮膚に付着した場合 : 製品に触れた部分を布等で払拭し、水または微温湯を流しながら洗浄する。
万一外観に変化が生じた場合は、医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。
不快感のある場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 危険な物質ではないができるだけ吐き出し、水で口の中をよく洗う。
不快感のある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

消火方法 : 初期火災の場合、粉末、炭酸ガスなどを用いる。
大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水し冷却する。
消火作業は風上から行い、特に密閉された場所で消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。

消火剤 : 二酸化炭素、泡、ドライケミカル、乾燥砂

6. 漏出時の措置

付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。
少量の場合は、乾燥砂やおがくず等に吸収させて、化学物質専用の場所で焼却又は廃棄処理する。
多量の場合は、土砂等で流出を防止し、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い上の注意

- 取扱い時 : 火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないように注意する。
吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で作業をする。
漏洩を防止する。
- 保管 : 冷暗所に貯蔵。貯蔵タンクは全てアースし、スパークしない用具、設置を使用する。
-

8. ばく露防止措置

- 許容濃度 : 日本産業衛生協会（2000年） 勧告値 シリカ 4mg/kg
ACGIH（1999年） 勧告値 シリカ 10mg/kg
- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 送気マスク、空気呼吸器、酸素呼吸器、有機ガス用防毒マスク
- 手の保護具 : 耐油性保護手袋（塩化ビニル、ネオプレン、ニトリルゴム、ウレタンゴム製）
- 眼の保護具 : 保護眼鏡、顔面シールド
- 皮膚及び身体の保護具 : 対油保護前掛け
-

9. 物理／化学的性質

- 外観等 : 薄灰色粘着物
- 密度 : 0.900（15℃）
- 溶解度 : 水に対し殆ど不溶。ヘキサン・トルエン等の有機溶剤に可溶。
-

10. 危険性情報

- 安定性 : 常温では安定
- 反応性 : 情報なし
-

11. 有害性情報

- 皮膚腐食性 : なし
- 急性毒性 : マウス 経口 LD50 20.0g/kg以上
- 刺激性 : 殆どなし
- がん原性 : がん発生に関する情報はない。
-

12. 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は、焼却によって行う。
- 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
- 河川や下水道への流入、地下への浸透がないよう管理する。
-

13. 輸送上の注意

- 運搬は消防法他関係法規の定めるところによる。
- 荷役作業場は火気厳禁とし、消火器を配置すると共に、作業中の標識をする。
- 車輛には異常時のための応急処置に必要な消火器、保護具を備える。
-

14. 適用法令

- 消防法 : 指定可燃物（可燃性固体）
- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物（シリカ）

15. その他

引用文献 : 許容濃度等の韓国（2000） 日本産業衛生学会
ACGIH（1999） 日本作業環境測定協会
順天堂大学 ポリブテンの垂急性毒性試験（1963）

記載内容の取扱い : 記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、記載のデータや危険、有害性の評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

すべての化学物質には未知の危険性、有害性が存在するという認識で、開封から保管、廃棄に至るまで、細心の注意を払ってご使用ください。

本品の適正に関する決定は、使用者の責任において行ってください。